

第二級海上特殊無線技士試験問題

(注) 解答は、答えとして正しいと判断したものを一つだけ選び、答案用紙の答欄に正しく記入（マーク）すること。

法 規 12問 } 24問 1時間
無線工学 12問

法 規

〔1〕 無線局の免許人は、無線設備の変更の工事をしようとするときは、総務省令で定める場合を除き、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 あらかじめ総務大臣の許可を受ける。
- 2 あらかじめ総務大臣にその旨を届け出る。
- 3 あらかじめ無線設備の変更の工事の期日を総務大臣に届け出る。
- 4 あらかじめ総務大臣の指示を受ける。

〔2〕 電波の主搬送波の変調の型式が角度変調で周波数変調のもの、主搬送波を変調する信号の性質がアナログ信号である単一チャネルのものであって、伝送情報の型式が電話（音響の放送を含む。）の電波の型式を表示する記号はどれか。次のうちから選べ。

- 1 J 3 E
- 2 A 3 E
- 3 F 1 B
- 4 F 3 E

〔3〕 第二級海上特殊無線技士の資格を有する者が、船舶局の25,010kHz以上の周波数の電波を使用する無線電話の国内通信のための通信操作を行うことができるのは、空中線電力何ワット以下のものか。次のうちから選べ。

- 1 100ワット
- 2 50ワット
- 3 10ワット
- 4 5ワット

〔4〕 無線局の免許人は、その船舶局が緊急通信を行ったときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 速やかに海上保安庁の海岸局に通知する。
- 2 その通信の記録を作成し、1年間これを保存する。
- 3 総務省令で定める手続により、総務大臣に報告する。
- 4 船舶の所有者に通報する。

〔5〕 無線従事者が電波法又は電波法に基づく命令に違反したときに総務大臣から受けることがある処分はどれか。次のうちから選べ。

- 1 無線従事者の免許の取消し
- 2 期間を定めて行う無線設備の操作範囲の制限
- 3 その業務に従事する無線局の運用の停止
- 4 6箇月間の業務に従事することの停止

〔6〕 船舶局の免許状は、掲示を困難とするものを除き、どの箇所に掲げておかなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 受信装置のある場所の見やすい箇所
- 2 航海船橋の適宜な箇所
- 3 船内の適宜な箇所
- 4 主たる送信装置のある場所の見やすい箇所

第二級海上特殊無線技士試験問題

法 規

〔7〕 次の記述は、秘密の保護について述べたものである。電波法の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

何人も法律に別段の定めがある場合を除くほか、 を傍受してその存在若しくは内容を漏らし、又はこれを窃用してはならない。

- 1 特定の相手方に対して行われる暗語による無線通信
- 2 総務省令で定める周波数を使用して行われる無線通信
- 3 特定の相手方に対して行われる無線通信
- 4 総務省令で定める周波数を使用して行われる暗語による無線通信

〔8〕 次の記述は、一般通信方法における無線通信の原則について述べたものである。無線局運用規則の規定に照らし、 内に入れるべき字句を下の番号から選べ。

無線通信は正確に行うものとし、通信上の誤りを知ったときは、 。

- 1 直ちに訂正しなければならない
- 2 初めから更に送信しなければならない
- 3 適宜に通報の訂正を行わなければならない
- 4 通報の送信後訂正箇所を通知しなければならない

〔9〕 無線電話通信において、応答に際して直ちに通報を受信することができない事由があるときに応答事項の次に送信することになっている事項はどれか。次のうちから選べ。

- 1 「お待ちください」及び通報を受信することができない理由
- 2 「どうぞ」及び通報を受信することができない理由
- 3 「お待ちください」及び分で表す概略の待つべき時間
- 4 「どうぞ」及び分で表す概略の待つべき時間

〔10〕 無線局が電波を発射して行う無線電話の機器の試験中、しばしば確かめなければならないのはどれか。次のうちから選べ。

- 1 他の無線局から停止の要求がないかどうか。
- 2 空中線電力が許容値を超えていないかどうか。
- 3 「本日は晴天なり」の連続及び自局の呼出名称の送信が5秒間を超えていないかどうか。
- 4 その電波の周波数の偏差が許容値を超えていないかどうか。

〔11〕 156.8MHzの周波数の電波を使用することができるのはどの場合か。次のうちから選べ。

- 1 漁業通信を行う場合
- 2 港務に関する通報を送信する場合
- 3 電波の規正に関する通信を行う場合
- 4 呼出し又は応答を行う場合

〔12〕 船舶局は、安全信号を受信したときは、どうしなければならないか。次のうちから選べ。

- 1 自局に関係がないものであってもその安全通信が終了するまで受信する。
- 2 自局に関係のないことを確認するまでその安全通信を受信する。
- 3 できる限りその安全通信が終了するまで受信する。
- 4 少なくとも2分間はその安全通信を受信する。